

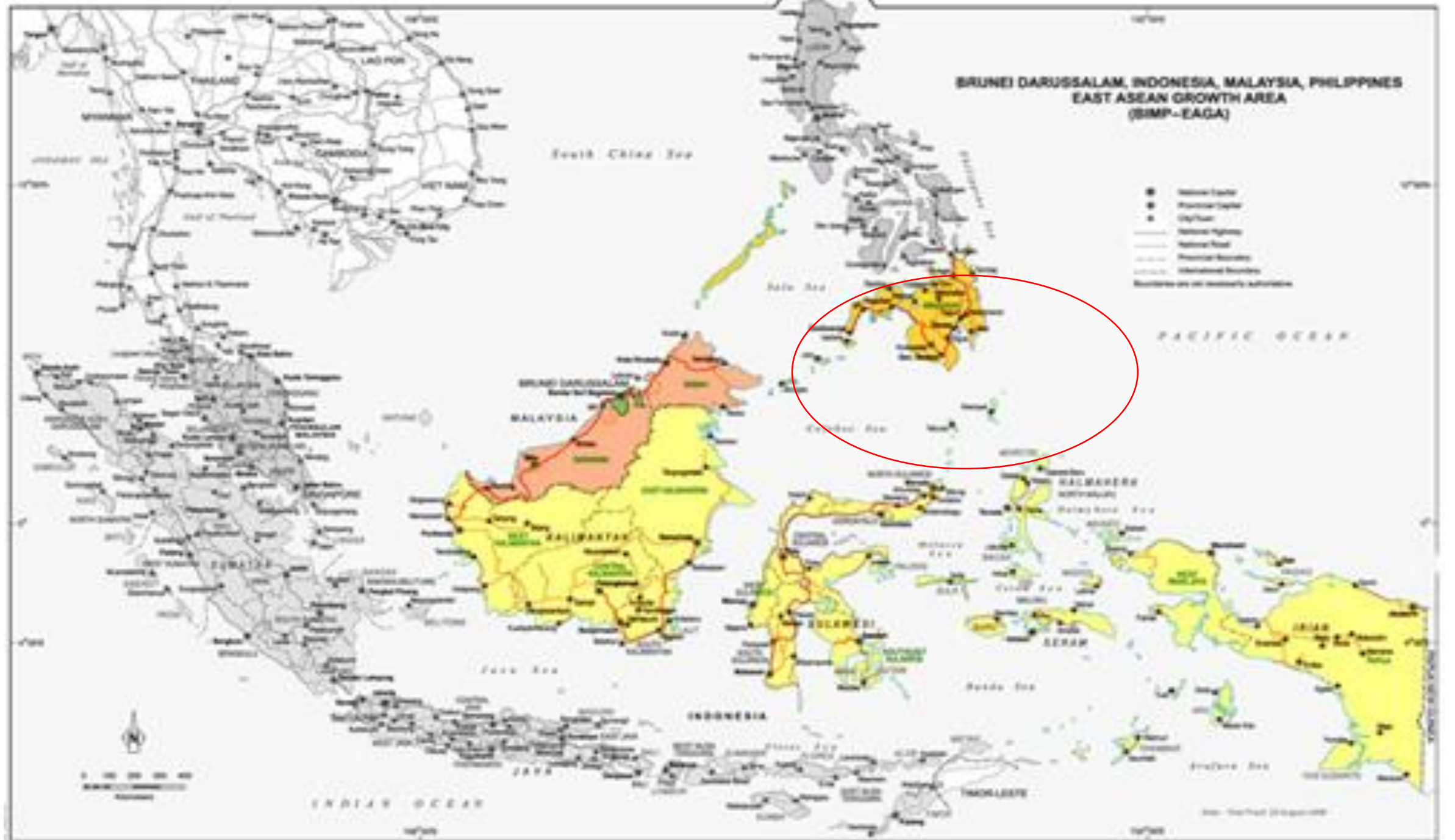
【フィリピン・ミンダナオ平和と開発ウェビナーシリーズ第1回】
プロジェクト・ヒストリー『フィリピン・ミンダナオ平和と開発』シンポジウム
＝オール・ジャパンで紡ぐ和平への道筋＝

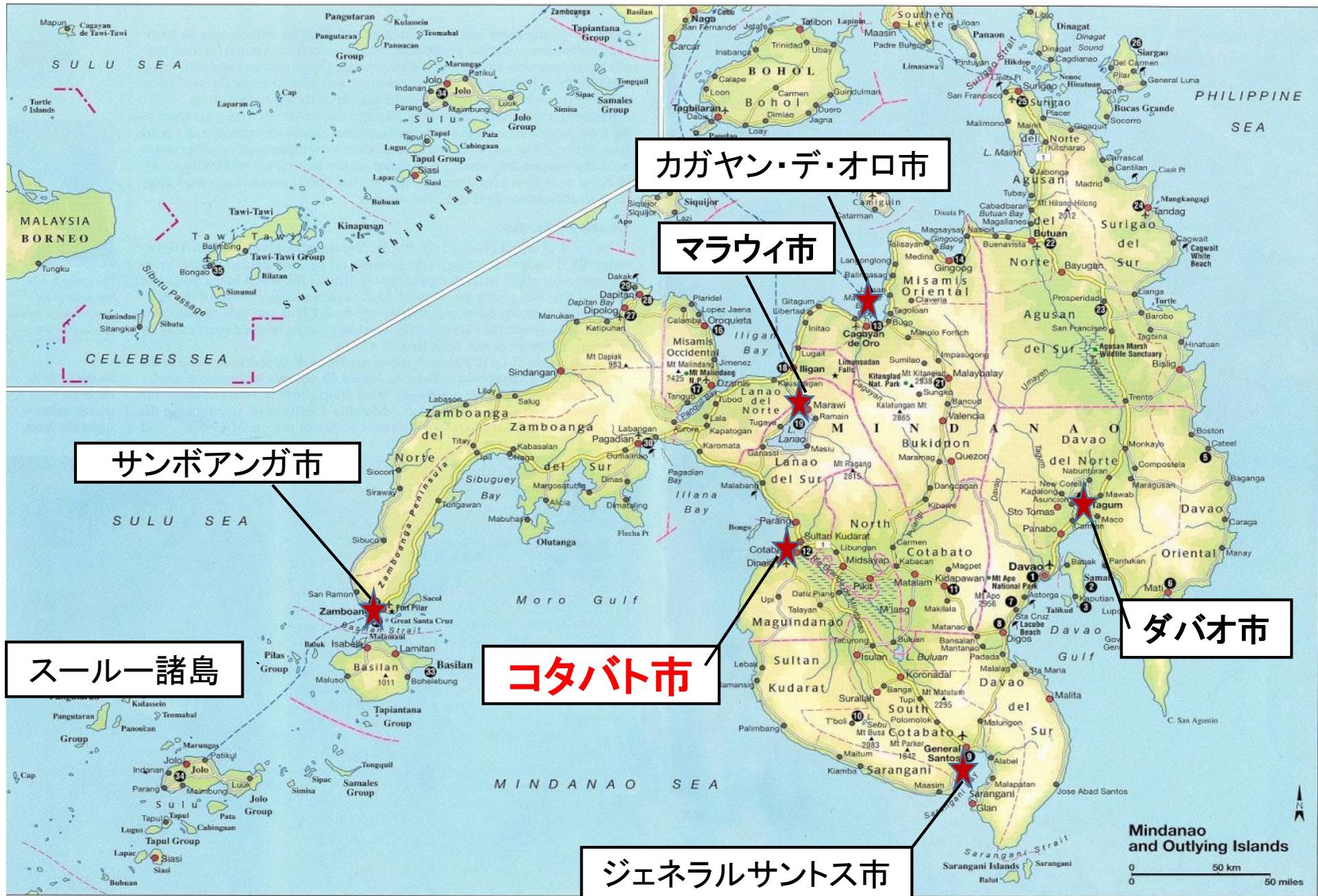
ミンダナオ平和と開発

落合直之

JICA

2021年2月10日





カガヤン・デ・オロ市

マラウィ市

サンボアンガ市

スールー諸島

コタバト市

ジェネラルサントス市

ダバオ市

Mindanao and Outlying Islands
0 50 km
0 50 miles

ミンダナオ島の歴史(フィリピン独立まで)

	ミンダナオ島	フィリピン全般
1300年代	<ul style="list-style-type: none"> ミンダナオ島にイスラム教が伝わる 	
1400年代	<ul style="list-style-type: none"> スールー王国成立 	
1500年代	<ul style="list-style-type: none"> マギンダナオ王国成立 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン艦隊(マゼラン)のフィリピン寄港 スペインのセブ、マニラ征服
1600年代		
1700年代		
1800年代	<ul style="list-style-type: none"> スールー王国及びマギンダナオ王国の衰退始まる 	<ul style="list-style-type: none"> 民族運動の展開 独立運動 米西戦争(フィリピン独立) 米比戦争(植民地化)
1900年代	<ul style="list-style-type: none"> ルソン島、ビサヤ諸島からの移民及び入植拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦 フィリピン完全独立・主権確立

植民地化 ↓ 不正義

スペイン
影響下

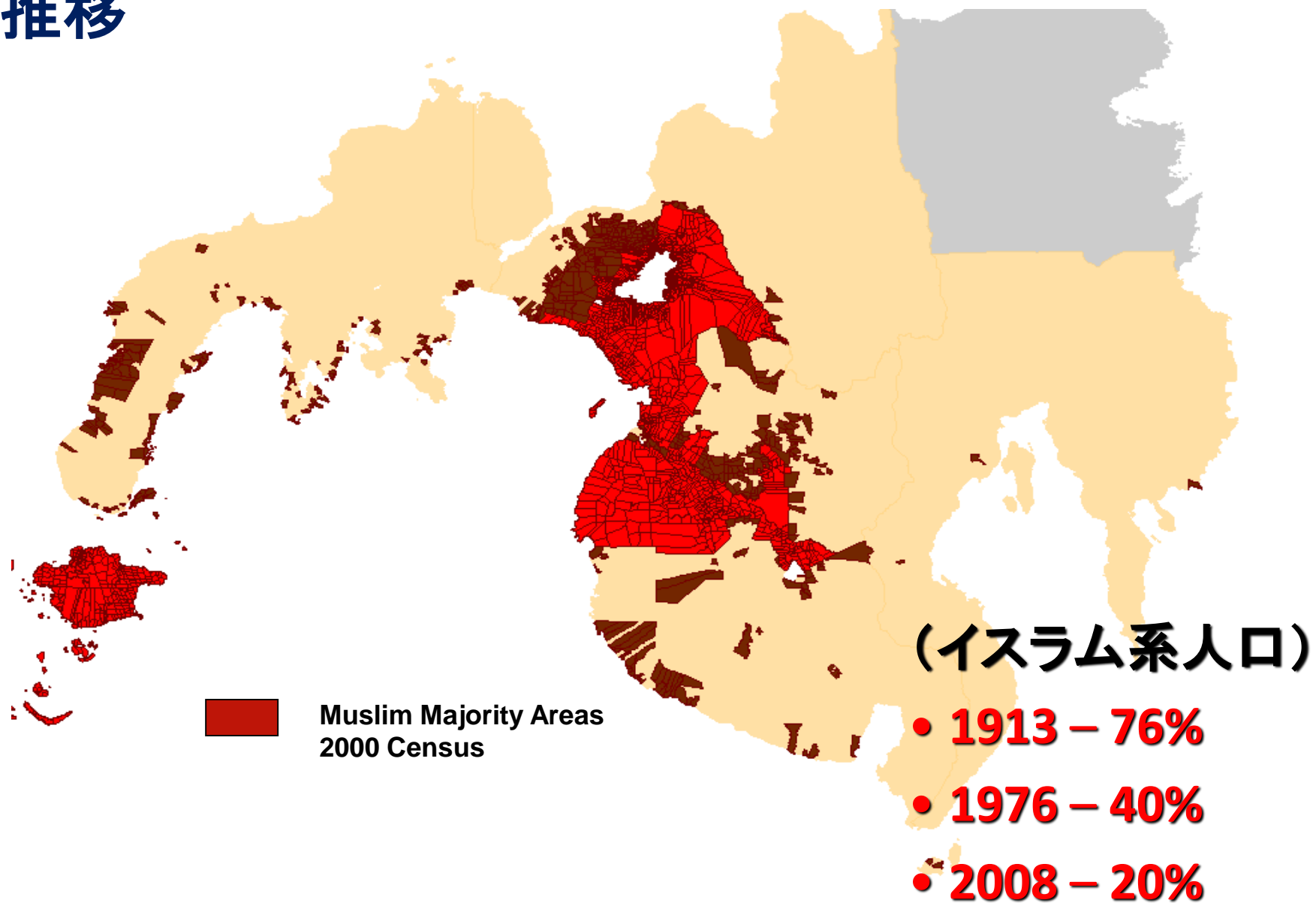
アメリカ
影響下

日本

スルタン・ダトゥ・ラジャによる封建的統治社会



人口の推移



モロ・イスラム解放戦線
Moro Islamic Liberation Front
(MILF) 1984年～



Salamat
Hashim

モロ民族解放戦線
Moro National Liberation Front
(MNLF) 1971年～



Nur
Misuari

Self Determination

民族自決



Justice 正義

(人間としての尊厳)



Ancestral Domain

先祖伝来 の土地



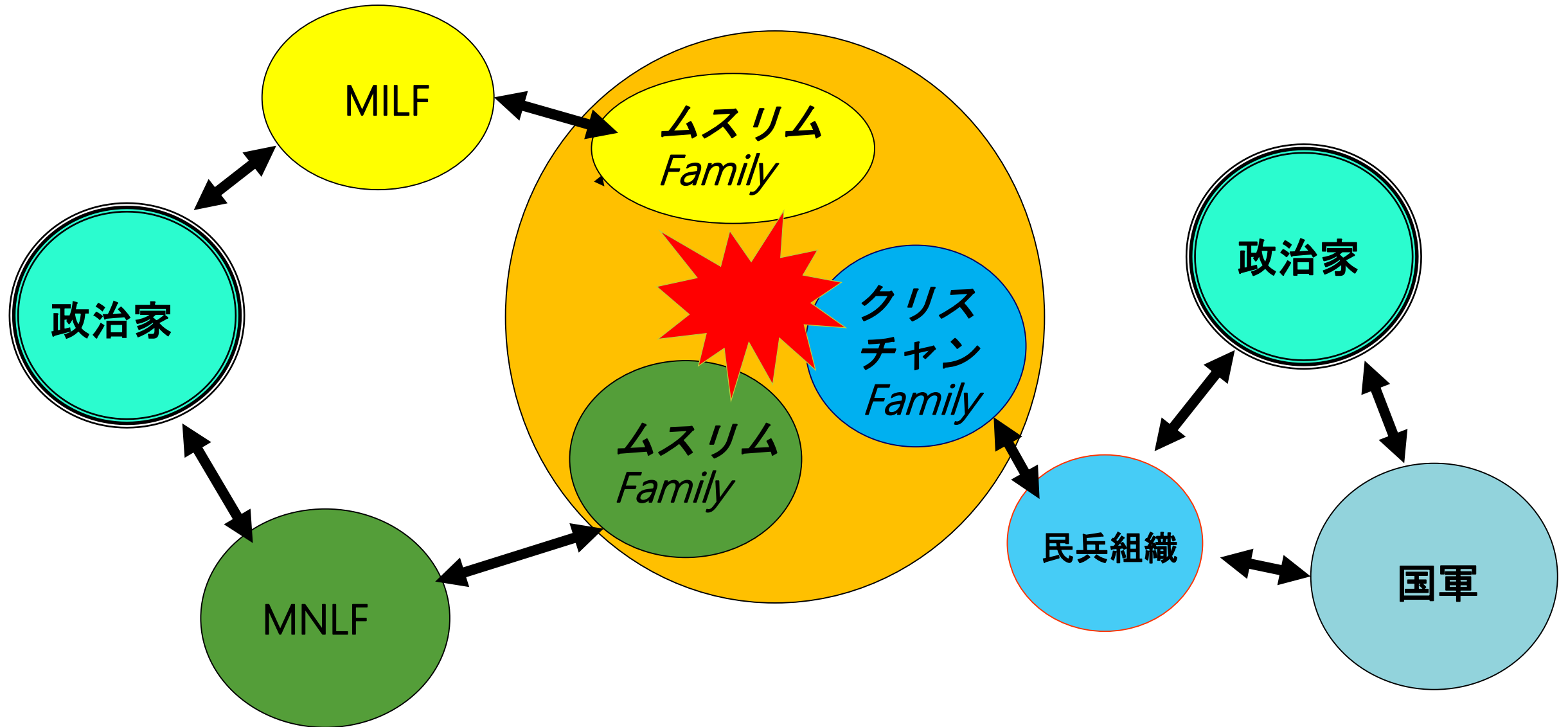
Bangsamoro Islamic Armed Force (BIAF) vs Armed Force of Philippines (AFP)



VS



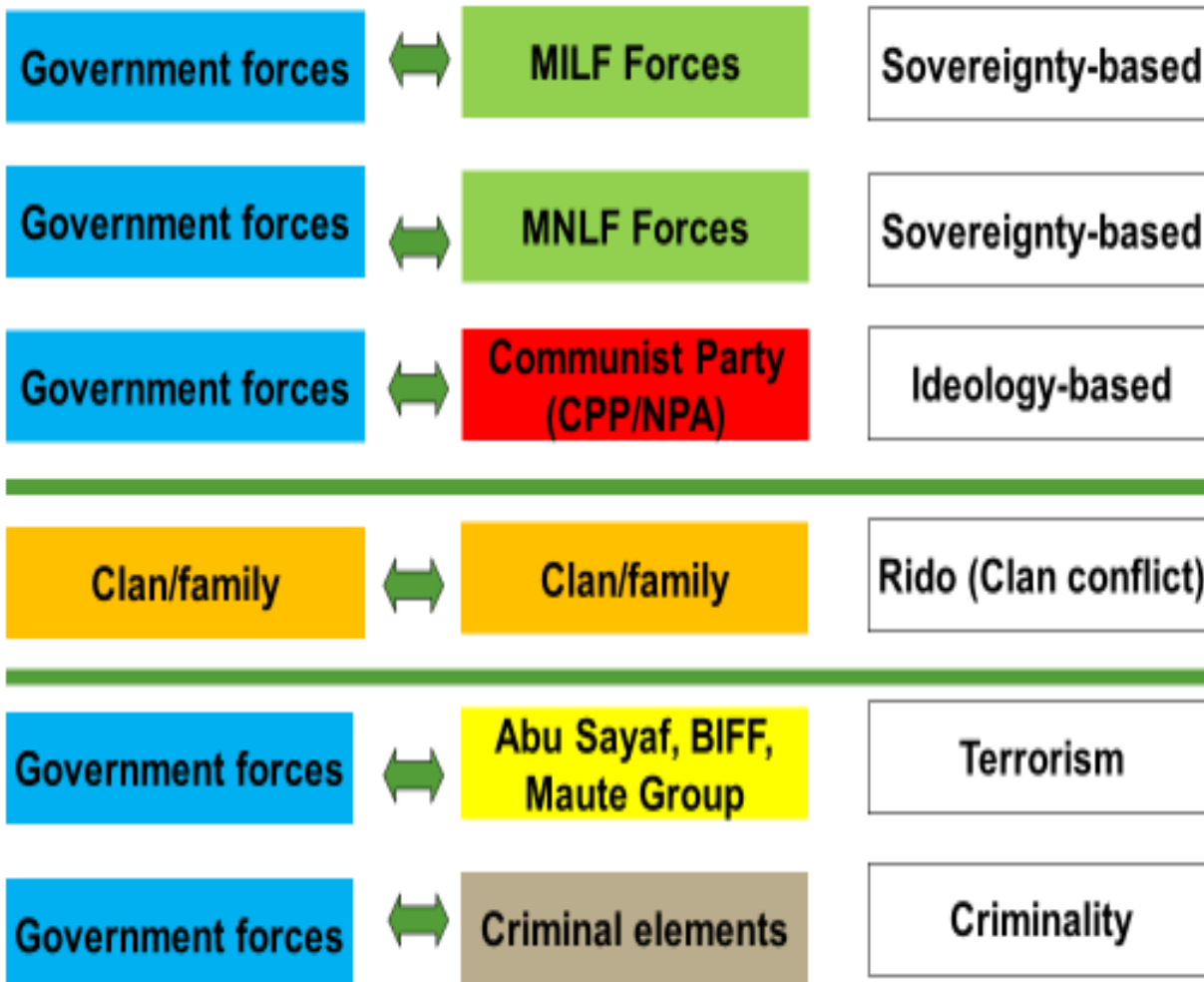
リド (部族抗争)



リド（部族紛争）



ミンダナオにおける紛争の状況



モロ民族解放戦線(MNLF) 和平プロセス

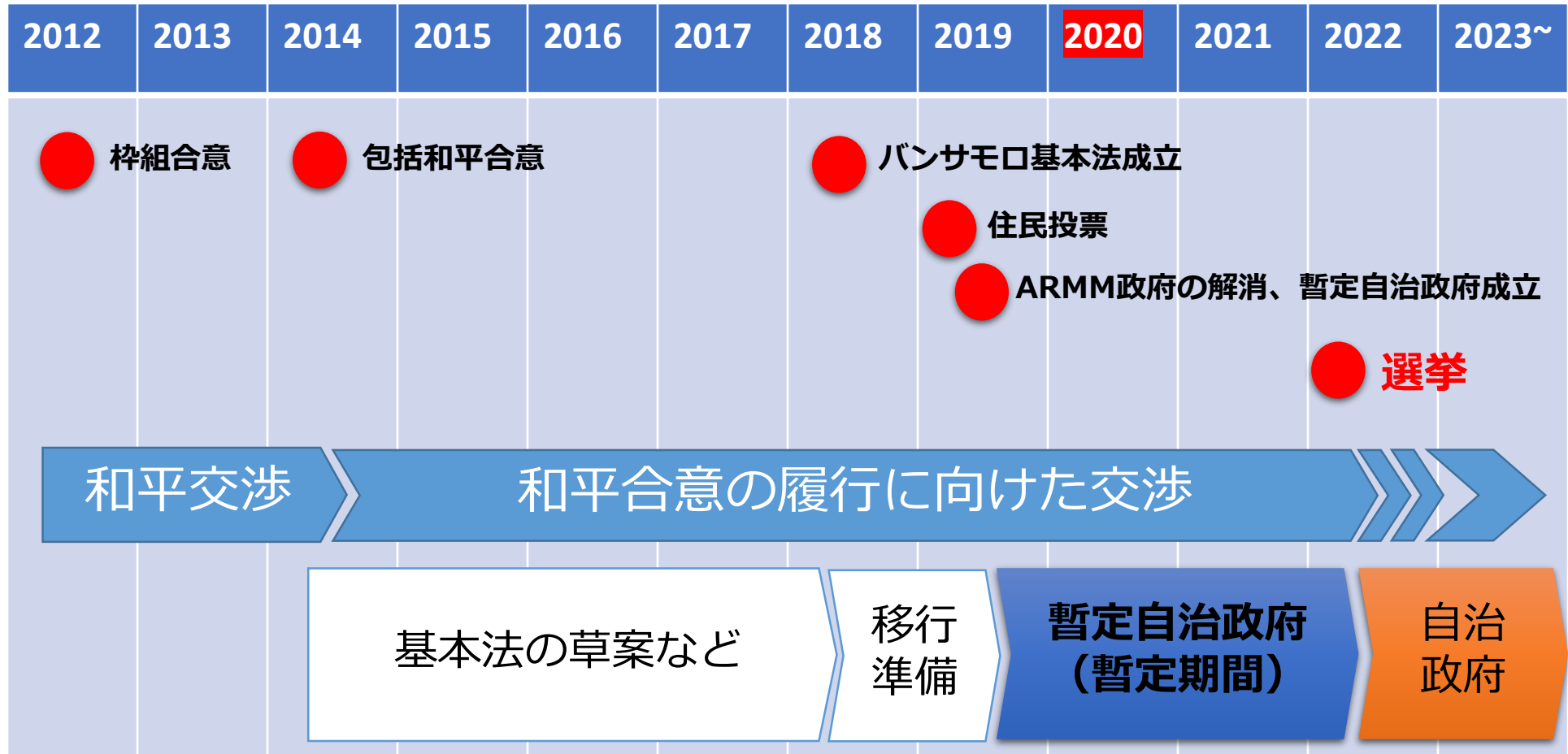
1969	MNLFの設立
1976	トリポリ協定署名
1990	ムスリム・ミンダナオ自治政府 (ARMM) 設立
1996	最終和平合意締結 MNLFのARMM自治政府参加
2000	3派に分派



モロ・イスラム解放戦線(MILF) 和平プロセス

1984	MILFがMNLFより分派
1997	和平交渉開始
2000	全面戦争
2001	トリポリ協定署名
2004	ミンダナオ監視団 (IMT) 設立
2011	アキノ大統領・ムラド議長会談 (成田)
2014	バンサモロ包括和平合意締結

ミンダナオの和平プロセス



➤ 武装解除 (段階的)



★ フェーズ0 (145名)

★ フェーズ1 (30%、12,000人)

★ フェーズ2 (30%)

★ フェーズ3 (35%)

国際コンタクト・グループ(ICG)

日本、英国、トルコ、サウジアラビア、国際NGOs

和平交渉

政府パネル

マレーシア
の仲介

MILFパネル

国際監視団(IMT)

マレーシア、ブルネイ、リビア、日本、
ノルウェー、EU、インドネシア

治安

社会経済開発

人道/人権

文民保護

復興/開発

BDA/
MILF

フィリピン
政府

ARMM/BARMM
自治政府

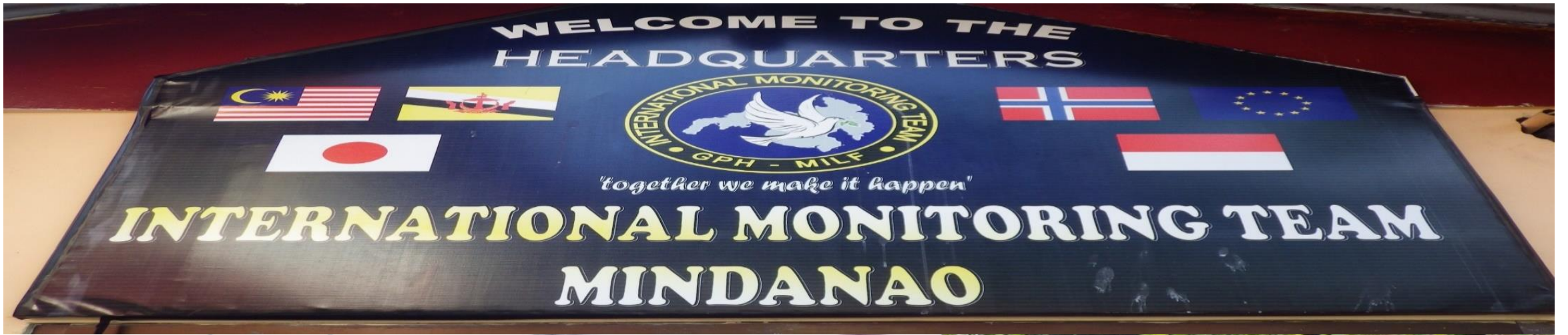


他の
援助機関

2006年9月18日、20日

開発が和平プロセスに貢献する
—人間の安全保障—







J-BiRD

**Japan-Bangsamoro Initiatives for
Reconstruction and Development**

日本の知識と経験に学ぶ

- ・幕藩体制から議会民主制
- ・封建的身分社会から平等社会
- ・戦後復興から現在

富国強兵・公儀輿論



バンサモロ自治政府の円滑な設立及び運営に向けて、ガバナンスの強化、地域住民の生計と福祉の向上及び地域の安定と経済発展を図る。



コロナ禍

- （12月11日時点）累計2,474人が感染。死者94人。
- 各自治体に隔離センター設置、食料の給付等実施。域内にICU病床、人工呼吸器、PCR検査体制が不十分など医療体制は脆弱。特に島嶼部の医療体制は脆弱。移動制限に伴う住民の経済活動停滞等が深刻な状況。



- ミンダナオ紛争を解決する手段として、平和的且つ民主的な解決策として、高度な自治権を付与する自治政府を設置することとなった。
- 日本のミンダナオ和平支援は、オールジャパンとして**外交と治安**（停戦監視）及び**開発**による取り組みが、フィリピン政府と反政府武装組織との内戦の終結に貢献した。
- ミンダナオの分断、排除、周縁、暴力の歴史を超えて、ムスリム系住民、クリスチャン系住民、少数民族系住民など、全ての人々の協調と協力による公共の空間における、公正な再分配が行われる平和で安定した世の中を形成することが求められる。

Unity for Peace and Development

ありがとうございました。

(問い合わせ)

落合直之 Ochiai.Naoyuki@jica.go.jp